

『株式会社トマホークス』 工賃向上計画

(令和 6 年 4 月策定)

I 事業所の概要

事業所名	株式会社トマホークス		
事業所種別	多機能型就労継続支援	定員	40 名
管理者	藤田 龍之介	担当者	松田 淳平
開設年月	2022 年 2 月 14 日	新体系移行年月日	年 月 日
所在地等	〒047-0021 住所：北海道小樽市入船 3-1 ベイコート小樽オーシャンヒルズ 1 階 電話：0134-61-7756 ホームページ https://tomahawks-baycourt.com/company.html		
設置主体	営利法人		
運営主体	特徴のあるサービスを提供する「株式会社」		
開設目的（理念）	当事業所は適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、事業所の従業員が支給決定を受けた障がい者に対し、適正な就労支援を提供することを目的とする。		
運営方針	事業所の実施に当たっては、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとし、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供と努めることとする。		
利用者の障害程度 (手帳の保有状況) (年 月 日現在)	身障	1 級 名、2 級 名、3 級 名、4 級 2 名、5 級 名、6 級 名	
	知的	A 名、B 2 名、B- 1 名	
	精神	1 級 名、2 級 名、3 級 名	
	その他	名 (診断書等による者)	
利用者の男女の別	男性 15 名 (平均年齢 29 歳) / 女性 5 名 (平均年齢 36 歳)		
利用者への福祉的支援（観点）に関する特徴、配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の便が悪いため、送迎サービスを実施している。 ・利用者本人の目標と今後の将来を踏まえ、本人の意思決定を尊重する提案を行っている。 ・年 2～3 回繁忙期後に慰労会を開催し相互の士気高揚を図っている。 		
工賃向上対象以外の実施事業	就労継続支援 A 型事業(同一施設内)		

工賃の決定 支払方法	当事業所は時給制としている。令和 4 年の創設以来、基本外作業(民泊等清掃業務)700 円、中作業(パソコン業務・物品整理・清掃準備など)350 円、また皆勤手当については 1 ヶ月目は 1,000 円、2 ヶ月目は 2,000 円、3 ヶ月目以降は 3,000 円を加算している。毎月 25 日口座振替払い。
---------------	---

II 作業の内容

	作業名	内容 (簡潔に説明)
①	民泊清掃業務	民泊のチェックアウト時の清掃
②	その他の清掃業務	賃貸物件退去後の美装、マンション等の共用部清掃
③	パソコン作業	当事業所におけるデータ入力作業

III 目標工賃の設定

(1) 目標工賃

	実績・見込み	目標			8年度の 対5年度比 (%)
		5年度	6年度	7年度	
A 一人あたりの平均工賃月額(円) <small>E÷H÷12</small>	68358	70417	71458	73900	8 (%)
B 年間総収入 (円)	5902455	6020000	6080000	6140000	4 (%)
C 年間総原価(工賃除く) (円)	2621264	2640000	2650000	2660000	1 (%)
D 工賃支払前収支 (円) <small>B-C</small>	3281191	3380000	3430000	3480000	6 (%)
E 年間工賃総額 (円)	3281191	3380000	3430000	3480000	6 (%)
F 年間延べ利用者数 (人)	1460	1460	1460	1460	100 (%)
G 年間開所日数 (日)	365	365	365	365	100 (%)
H 開所1日あたりの利用者数(人) <small>F÷G</small>	4	4	4	4	100 (%)
I 目標平均工賃(時間額) (円) <small>E÷J</small>	576	588	594	600	4 (%)
J 年間作業時間数 (時間)	5698	5750	5770	5800	1 (%)

IV 目標達成に向けた取組

(1) 事業所全体

1 工賃向上を可能とする基本的前提

当事業所においては前記のように工賃を決定していることから、事業の収支が改善され利用者一人当たりの工賃支払前収支が上昇すれば、結果として工賃水準も上昇することが可能となる。

2 取組の基本方針と具体的方策

基本方針	1.当事業所では、現在3つの異なる作業を行っており、その中でも利益率の高い民泊清掃事業に焦点を当てることで全体の工賃水準を向上させることを目指す。 2.民泊清掃事業の請負件数を増やすことでより効率的な利益を生み出し、利用者への工賃支給額を向上させる。 3.安定した収益の確保のほか、利用者個々の能力に応じた選択肢をさらに広げられる提供体制の強化を図る目的として、収益性の高い新規事業の拡大に取り組む。
具体的な取組方針	民泊清掃業務に対する安定した人員確保(新規契約利用者の確保)と障がい者雇用の可能性を多くの企業に理解していただく必要性からも、市内に対する企業訪問、関係機関との連携を密にし、さらに当事業所においても職員一人ひとりが共通の認識を持てるよう努める。

3 2の基本方針に関する現状と課題

経営的な視点	現状は民泊清掃事業を柱として運営を行っているが、繁忙期・閑散期と言った事業の波があり、閑散期でも収益確保が出来るように、新たな新規事業の確保が焦点となる。また、その為の利用者確保も大きな課題である。
福祉的な視点	当事業所での全事業について、全ての利用者に対応できる作業内容であるかが課題である為、利用者への作業研修も重視する必要がある。

4 現段階で考えられる改善の方策と、行政、福祉団体、経済団体、企業、住民等に望むこと

<p><経営的な視点></p> <p>新たな新規事業を確保する為、主な関係機関との連携や一般企業等の訪問を定期的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・[主な関係機関] 小樽市役所、小樽保健所・[一般企業] 本社小樽市一般企業（従業員 80 名以上）・[その他] 小樽市観光協会、産業港湾部 観光振興室 <p><福祉的な視点></p> <ul style="list-style-type: none">・[研修] 外部（WEB、実践等）の研修に参加。・[行政] 障がい者向け物品作業等の確保、一般企業からの受注が出来るように積極的なアプローチ。
--

(2) 作業別の取組方針

作業名①	民泊清掃
取組方針	<div style="text-align: center;"> 強化 現状維持 縮小 撤退 </div>
理由	<p>(理由) 当事業所での収益の大半は「民泊清掃」業務である。</p> <hr/> <p>経営環境分析</p> <p>【強み】 当社の親会社は不動産管理会社であり、多くの物件の管理・運用・仲介を多くのエリアで行っており、清掃委託の物件数が多い。</p> <p>【弱み】 閑散期と繁忙期があり月間収益の波がある。</p> <p>【機会】 当事業所が委託されてる民泊清掃事業は、観光入込客数に大きく左右されるが、コロナ渦からの社会経済活動の正常化が進み、付加価値の高いサービスや多様なニーズに対応するための新たな民泊施設が開設されており、海外からの日本への直行便の増加や円安傾向も相まって、訪日外国人旅行も堅調に増加し、小樽市の宿泊客数も対前年度比 131.8%、対令和元年度比においても 105.8%と好調な結果となっている。</p> <p>【脅威】 当該事業を展開している小樽市は、全国でも有数の観光地である半面、ホテルなどの公共宿泊施設がほとんどな地域特性がある。故に民泊経営が非常に多い地域であり、その清掃事業は大きなビジネスを生んでいる。</p>
目標	<p>職員・利用者共に、より質の深い研修を行い、どのような物件清掃作業でも対応できる体制をより整える。また請負清掃物件を増やすとともに、オーナー様からの信頼とゲスト様への質の高いおもてなしが出来るように今後も努力目標とする。</p>
具体的な目標達成策	<p>1.収入面について</p> <p>[価格決定] 清掃料金について、清掃内容の向上を前提に管理会社・オーナー様との協議。</p> <p>[事業拡大] 清掃業務内容の簡素化等により時間的負担を減らし、請負物件数の増加を狙う。</p> <p>[宣伝広告] HP を充実させ当事業の質の高さをアピール。</p> <p>2.支出面について</p> <p>[業務改善] 全ての清掃物件の質を上げ、閑散期でも多忙な業務になる様に契約物件を増やす。</p> <p>[コスト削減] 清掃備品等の負担軽減を管理会社・オーナー様との打合せを行う。</p> <p>3.その他</p> <p>清掃備品の品揃え・購入手段の見直しを常に行うことにより、目標が現実的になる。</p>

作業名②	その他の清掃業務（美装・共用部）
取組方針	<div style="text-align: center;"> 強化 現状維持 縮小 撤退 </div>
理由	<p>(理由) 民泊清掃業務の知識を熟知した結果、高度な業務が可能になった。</p> <hr/> <p>経営環境分析</p> <p>【強み】 今までの経験と知識等により、一般業者同等の清掃業務が可能であり、独自の美装清掃備品が揃っている。</p> <p>【弱み】 まだまだ経験と労力の不足がある為、完璧な業務ではない場合がある。受託件数がまだ少ない。</p> <p>【機会】 小樽市内での対象物件数が少ない状況ではあるが、観光関連での対象物件は増加傾向であり、海岸に近い気候独特の清掃は限りないものである。</p> <p>【脅威】 観光商店街、アーケード街等は常に綺麗にする必要があり、当社事業内容とマッチする可能性が高い。</p>
目標	民泊閑散期において、一般清掃の請負業務を増やす。
具体的な目標達成策	<p>1.収入面について</p> <p>[事業拡大] 新たな新規事業を確保する為、主な関係機関との連携や一般企業等の訪問を定期的に行う。</p> <p>[宣伝広告] HP を充実させ当事業の質の高さをアピール。</p> <p>2.支出面について</p> <p>[業務改善] 民泊清掃だけでなく、ビルの共用部清掃などにも強い組織となる為、外部研修などの訓練が必要であり、高額な装備も必要である。</p>

	<p>3.その他</p> <p>清掃受託の営業強化を常に行うことにより、目標が現実的になる。</p>
--	--

作業名③	パソコン作業
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	<p>(理由)</p> <p>継続支援の一環として「IT」業務を取り入れることは、一般就労に向けてプラスになる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>経営環境分析</p> <p>【強み】 当社では全ての利用者に対し、日頃からパソコン業務を行っており、HP等も利用者が作成している。</p> <p>【弱み】 まだまだ経験と労力の不足がある利用者が多い。</p> <p>【機会】 小樽市内はインバウンド観光地の為、様々な言語の掲示等が必要である。掲示内容も季節等にも対応が必要であり、事業は限りないものである。</p> <p>【脅威】 観光業者との連携により、より集客が増えるように出来る事業の一つである。</p>
目標	世界各国の人が安心して観光が出来るようなより良い街づくり。
具体的な目標達成策	<p>1.収入面について</p> <p>[事業拡大]</p> <p>新たな新規事業を確保する為、主な関係機関との連携や一般企業等の訪問を定期的に行う。</p>

	<p>[宣伝広告]</p> <p>HP を充実させ当事業の質の高さをアピール。</p> <p>2.支出面について</p> <p>[業務改善]</p> <p>日頃から利用者がパソコンに携わっているとは言え、全員が高レベルではない為、本格的な業務にするにはパソコン教室などの外部指導の導入が必要。</p> <p>3.その他</p> <p>現在パソコン数が少ない状況の為、設備投資が必要である。</p>
--	--

作業名		
取組方針	新規	大幅な規模拡大
商品・サービスの内容		
顧客・市場規模・販路	<p>(対象顧客)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>(市場規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>(販路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	
競合と差別化	<p>(ライバルの状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>(差別化の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	
設備投資と資金		
収支と工賃		

V 取組の年次計画

令和6年度（実施済を含む）

- ・市内における企業への当事業所知名度アップの働きかけ。
- ・職員及び利用者様の人材確保。
- ・新規事業の検討。

令和7年度

- ・前年度、工賃向上計画の検討と見直し。
- ・新規事業の検討。

令和8年度

- ・前年度、工賃向上計画の検討と見直し。
- ・新規事業の検討。

○固定資産の状況

（単位；千円）

資産名 （作業科目）	取得年	取得価額 （耐用年数）	R2年度末 償却済額	減価償却費 （6年度）	減価償却費 （7年度）	減価償却費 （8年度）
（ ）		（ 年）				
（ ）		（ 年）				
（ ）		（ 年）				

○投資計画（設備の内容、資金調達方法）

（単位；千円）

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業（事業）名：		自己資金 借入 その他	
a 設備名			
b 設備名			

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業（事業）名：		自己資金 借入 その他	
a 設備名			
b 設備名			

○積立金の状況

（単位；千円）

積立金名	目的	R5年度末積立額	R8年度までの使用見込み